

イタリアから初上陸。真空管アンプのビギナーに好適

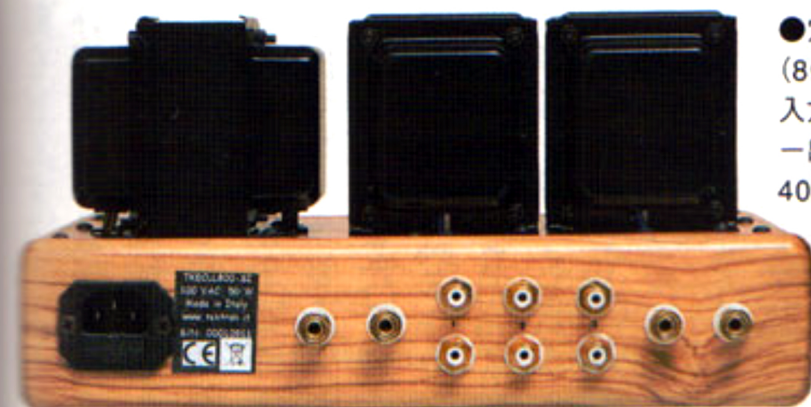
イタリアの真空管アンプメーカー、テクトロン（1990年設立）の製品がはじめて日本にやってきました。本機TKECLL800S-Iがそれ。外来ノイズを効果的に防止するための高純度銅の天板と周囲に無垢の天然木をあしらったシャーシが特徴的なプリメインアンプである。内部の詳細は不明だが、真空管は、初段が6C4WA（3極管）、出力段がモデルナランバーの由来であるECLL800（5極／3極の複合管）のシングルという構成で出力は7.5W/ch（8Ω）だ。出てくるのは明るく輝きのある音だが、こうした快活な鳴り方にある

りがちな華やかにすぎたり耳を刺激するような鋭さはほとんど感じられない。描き方を端的に言うとおおらか。楽器やボーカルの細部まで緻密に描き出すというより音楽の全体像をストレートに表出する方なのだが、大味にならないのがとてもいい。加えて、手ごろな価格も嬉しい。真空管アンプのビギナーにも好適な1台といえよう。なお、前記の天然木はオリーブ、マホガニー、ウォルナットの中から好みのものが選べる。



テクトロン TKECLL800S-I

プリメインアンプ ¥130,000（送料込）/TEST REPORT by 篠田寛一



●定格出力:7.5W+7.5W (8Ω) ●入出力端子:ライン入力3系統(RCA)、スピーカー出力1系統 ●入力感度:400mV ●使用真空管:6C4WA×2、ECLL800×2 ●寸法・重量:310W×160H×220D mm・8kg

■背面:3系統のRCA入力端子と、スピーカー端子を装備。